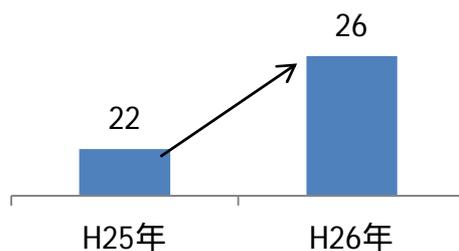


# 造船業における労働災害防止について

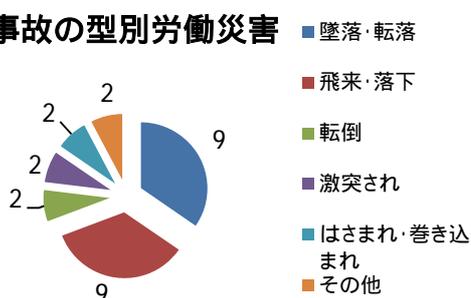
愛媛県内の労働災害が増加しています。  
〔7月末現在:対前年比 +4人(20%)増加〕

墜落・転落、飛来・落下災害が多く発生しています。

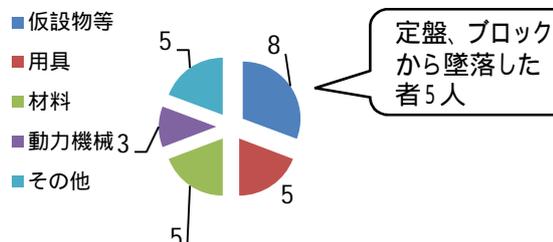


平成26年7月末の愛媛県内における全産業の休業4日以上死傷者数は、716人で昨年同時期と比べ36人(5.3%)増加、特に製造業は、246人で39人(18.8%)増加。

## 事故の型別労働災害



## 起因物別労働災害



墜落・転落災害が約4割を占めています。

材料等の飛来・落下災害が約4割を占めています。

## 災害事例

### (墜落・転落災害)

ブロックを反転する作業中に後ずさりした際、開口部から墜落した。

ブロックの端で溶接ビードをグラインダー掛けしている時に足を踏み外し墜落した。

足場上でブロック外板の溶接作業中に足を滑らせ墜落した。

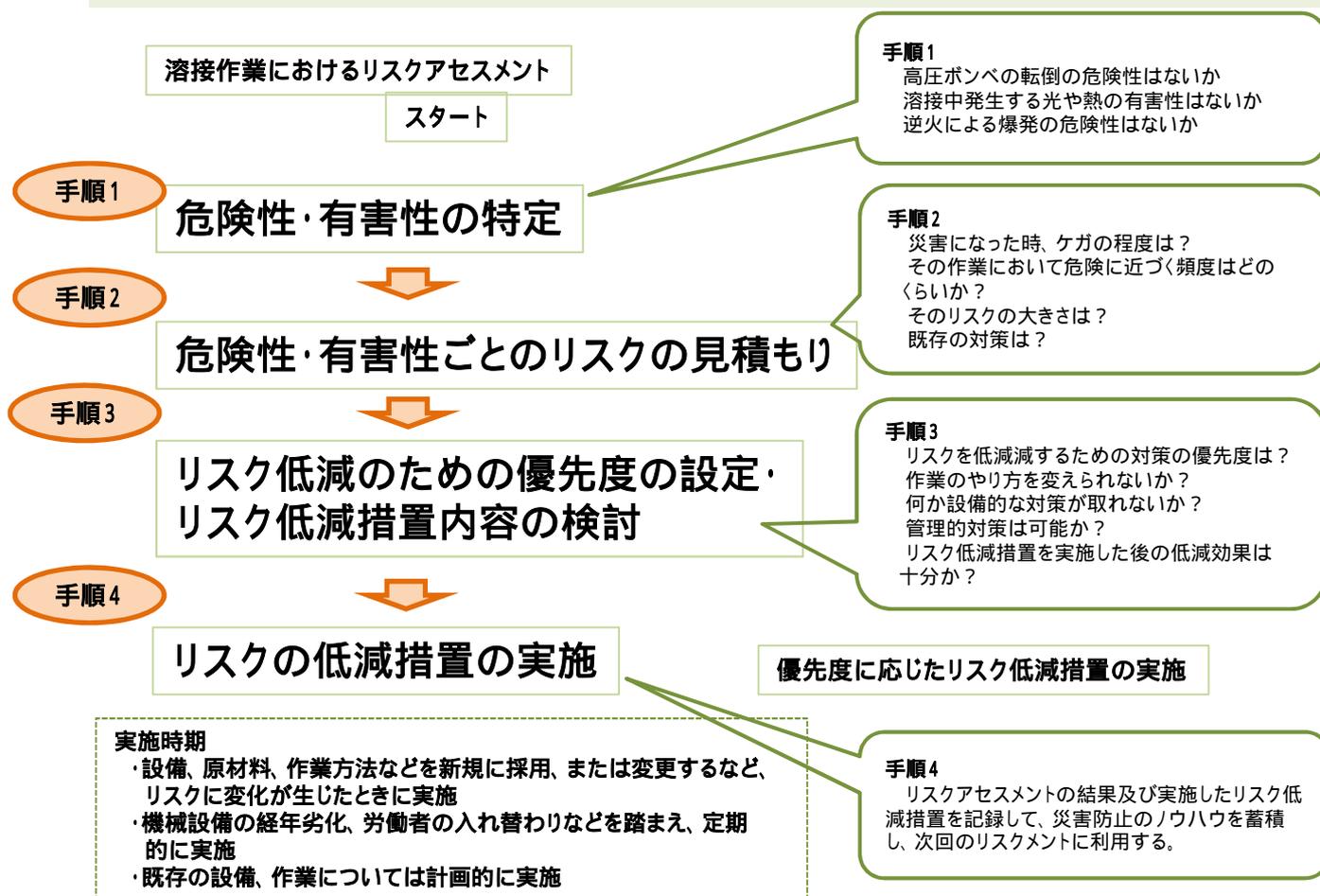
### (飛来・落下災害)

グラインダーで研磨中にゴーグルの装着が悪かったため、鉄粉が目に入り化膿した。

クレーンで移動させた部材を倒れ止めをした後、クランプを外しクレーンを移動させた際に、部材にクランプが引っかかり、部材が倒れて足に当たった。



# リスクアセスメントを実施しよう！



詳しくは、厚生労働省ホームページ

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/roudoukijun/anzeneisei14/index.html> へ

## 災害防止のポイント

- 1 「墜落・転落」災害防止対策の徹底  
作業主任者の選任が必要な作業においては、直接指揮、安全带・保護帽の着用状況の監視  
安全な作業床の設置、開口部・作業床の端の墜落防止措置など基本対策の徹底
- 2 新規雇い入れまたは作業内容の変更時の安全衛生教育の徹底
- 3 暑熱時期の熱中症対策の徹底
- 4 安全衛生活動の進め方
  - ・事業場全体で取り組む(トップがやる気を見せる)
  - ・安全衛生活動のための体制づくり(担当者を決める、委員会等で意見を聞いて相談する)
  - ・安全衛生管理・活動のための仕組みづくり(ルールを作る、リスクアセスメントの仕組みを作る)
  - ・安全衛生活動の実施(朝礼での災害事例やヒヤリハット事例の紹介、安全衛生に関する個人目標の設定、社内安全衛生標語コンクールの実施、職場巡視、危険予知活動、リスクアセスメント、安全衛生教育などの実施)